

みんなの環境

第30号 2011年8月1日

編集/発行 あつぎ環境市民の会

http://www.geocities.jp/atsugi_kankyo/

宇宙に浮かぶ青い星、地球。私たちはそこに居る。直径約1万2756kmの星を1mの球にたとえると、コピー用紙1枚の厚さに、大気や水があり、その中に人間を含む3000万種以上の生物がお互いを必要として1つの生命体を織り成しています。水や大気はその生物の中を一瞬にしてすり抜け、あるいは時空を超えてゆっくりと循環しています。



1972年イギリスのジェームス・ラブロックはこれを「地球は1つの生命体である」とガイア論を発表しました。森の木、草、動物、昆虫、人間、微生物も地球の生命の一部であると考えたのです。現在は生物多様性として世界的にも受け入れられるようになりました。

富山和子氏には、「水と緑の国、日本～いま、子供たちへ伝えたいこと」をご講演戴きました。40年も前から鋭い洞察力をもって、深遠な自然界と日本人の暮らしのかかわりを、環境問題の基本として様々な著書を出版し警鐘されてきました。一語一語に思いを乗せて、地球そのものが持つ力と、先人が水に取り組んできた文化を多くの人々に伝えようとして来られ敬服しています。

さて、平成16年4月「美しいふるさとを子供たちへ残してあげたい！」という素朴な気持ちであつぎ環境市民の会を立ち上げてからはや7年が経ちました。

今年度も、厚木市との市民協働事業として開催「水と環境」をテーマに臨みました。6月26日の映画、講演と共に、6月25日、展示会場でのポスターセッションは、参加者全員がパネル1枚1枚に対する思いを発表されました。どれも、地元での活動結果と研鑽から発する情報で、本物の自然を子どもたちへ残さなければ、というメッセージが伝わってきました。きっと会場で、お互いを尊敬の気持ちを持って情報を共有して頂いた事と思います。

準備の最中、東日本大地震と津波による原発事故が発生しました。すっかり心がそちらに奪われてしまい、集客が思うようにできなかった事を反省いたします。内容的には多くの皆様方のご協力で素晴らしい環境展になりました。感謝申し上げます。（狩野光子）

ポスターセッション好評

情報交流のステージ演出

4階展示会場は、これまでになく多くのポスターが貼られました。

また、厚木市が出展した、市民が設置しようとするとき補助金が付く雨水タンクの実物や、野生動物救護ネットワークによる川で集めた捨てられた釣り糸の実物展示は見る人に訴える力の強いものがありました。

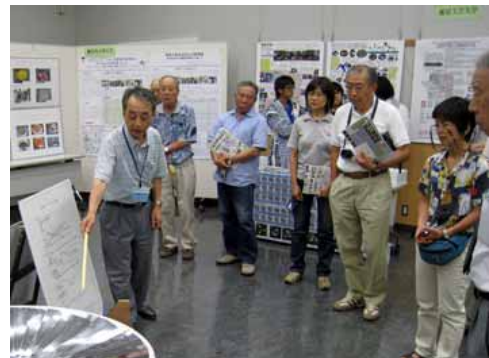
今年は、初めての試みとして、展示したポスターをそれぞれが説明する「ポスターセッション」を25日に行いました。12主体があったので、それぞれ10分の持ち時間で2時間かかりましたが、お互いの交流という点で意義あるものでした。余り宣伝しなかったせいもあり一般の参加者は少なかったのですが、参加した人からはとても好評でした。

昨年に行った、七夕笹飾りは見学に訪れた人たちがその思いを伝えて、環境展に参加する良い場となったのではないかと思います。

参加できるものとして、相模川の源流水・水道水・市販のミネラルウォーターを飲み比べてどれがどれか当てるコーナーも設置しました。会場を訪れた人には、エコママさん達手作りの洗剤を使わなくても油污れが落ちるアクリルたわしがプレゼントされました。

展示ポスター（ポスターセッション 発表順）

厚木植物会 河骨保護の会 荻野自然観察会 野生動物救護ネットワーク 厚木市立清水小学校 東京工芸大学 神奈川工科大学 ひまわりソーラークッカー研究会 PV ネット・県央連絡会 あつぎ環境市民の会 厚木市 メインテーマ・「水と環境」について



竹飾り短冊（今年は、東日本大震災やそれに伴う福島第一原子力発電所事故があり、重く環境を考える年になりました。また、短冊は参加しやすいように昨年同様、個人の想いも書いていいことにしました。）



ガンバロウ日本 みんなが幸せになりますように日本ががんばれ 原発廃炉に市民の力を結集しようではありませんか 水と空気と土と緑を守ろう 成長の限界 “ないものはない” という覚悟が実はしあわせのもと 地球のことを考えながら地域で活動する 自然とは子孫から借りているものだ!借用している心を行動に 自然が今より増えますように ほたるがいきのこれますように ソーラークッカーがもっと普及することを しあわせになれるように(折り紙ねこ貼付) いつもしあわせになれるように はなやさんになりた

い です おいしゃさんになれるように (青砥航次)

水をめぐって 映画と講演

「みんなの環境展 2011」2日目の6月26日(日)には厚木市文化会館小ホールで、映画「ブルーゴールド～狙われた水の真実」上映。午後からは講演に先立ち、まず鈴木勲・厚木市副市長がご挨拶。「水と緑と土」や「水の文化史」などの著者で、日本のレイチェルカーソンともいわれている評論家・富山和子氏が長年制作してこられた「日本の米カレンダー」をもとに製作され、昨年、筑波の「食と農の科学館」(旧つくばリサーチギャラリー)で上映されていた映像詩を上映しました。棚田風景がとても美しく、印象的でした。

そのあと「水と緑の国、日本～いま子どもたちに伝えたいこと」と題して講演をしていただきました。

映画「ブルーゴールド」モード・バーロウ/トニー・クラーク著『「水」戦争の世紀』をベースに、世界で起きている水の確保を巡る紛争や、世界3大水メジャーによる開発途上国を始めとする世界の水道事業の独占、石油に代わる投資の対象としての「水」事業などを記録したドキュメンタリー映画です。豊かな社会に生活し、水で悩むことがない私たちは、アフリカを始め開発途上国で安全な水を満足にとれずに多くの若い命が失われていることにもっと関心を寄せ、今こそ一人ひとりが水を大切にする行動をしなければならないことを痛感しました。

蛇口の水一滴から 富山和子氏は、先祖が米をつくる水を生み出すために皆でスギやヒノキを植え続け、また木を切っては植え、緑を絶やさなかったことが今の日本の緑と豊かな水を確保できている。いわば日本の森は米がつくり、日本の文化は米づくりの上に築かれ、国土の自然は農民が支えてきた。日本の土は世界一の財産でありながら、今、日本人は農地を放棄し、自ら生産することをやめ、農産物の輸入という形で外国の土と水を略奪し続けている。などを熱く語られました。私たちが住む厚木市には山、川、田全部整っていて活動の楽しみがいっぱいある。子どもたちには、自分は誰に養われているのか、蛇口の水一滴からそういうことを考える謙虚さを教えてほしいと結ばれました。



水と緑の国、日本を熱く語る富山和子氏

ところで、今、日本の食料自給率は40%。世界各国から小麦、大豆、トウモロコシ、牛肉、豚肉などの食料を年3000万トン以上輸入しています。その生産に要する水の量は640億トンで、国内で使われている農業用水、約550億トン(07年、国交省)を上回っています。

仮想水計算によると、牛肉1kgの生産に水20トン、鶏肉1kgに4.5トン、そば1kgに4.6トン、米1kgに3.7トン、大豆1kgに2.5トン、コーヒー1kgに21トン、バター1kgに13トン等々、なんと大量の水が使われているのが驚くばかりです。それでもあなたは輸入食品を購入しますか？
(井上 允)

PHOTO特集

水環境への関心深く



開会のあいさつをする狩野光子代表



あいさつをする鈴木勲・厚木市副市長



著書のサイン会は長い列ができた



釣り糸被害は注目を集める



活動の発表に質問も活発



実績の報告に熱が入る

みんなの環境展 2011 来場者アンケート調査の集計

アンケート結果 56枚回収

- ・お住まい： 厚木 = 43 県央（伊勢原、海老名、相模原）= 8 横浜 = 3 東京 = 1
- ・性別： 男 = 16 女 = 35 ・年齢： ~20歳 = 0 21~40歳 = 4 41~60歳 = 10 61歳~36
- ・環境展を何で知りましたか？： 厚木市広報 = 11 チラシ・ポスター = 8 HP = 1 知人 = 27 その他 = 6（八ガキ、9条の会で など）

A)「ブルー・ゴールド」映画上映会について

テーマ：大変良かった = 21 良かった = 18 普通 = 2 期待はずれ = 1 悪かった = 0

内容：大変良かった = 18 良かった = 19 普通 = 2 期待はずれ = 1 悪かった = 0

ご意見感想など： 前から見たいと思っていたので、見られてよかった。 外国のテーマでした。日本にしてみても（日本語で）命の水が経済の輪の中に組み込まれて、ここまでひどい状態になっている事を映像で知りことができ良かった。日本も早く手を打たないと。明日はわが身の問題です。映像が次々かわり、少し観づらかった。焦点が分かりにくかった。編集方法、音楽が内容を打ち消していると思う。内容は素晴らしいのだから、もっと整理して伝えられて方がよい。映画の作り方がせわしない。

B)講演会について

テーマと内容：大変良かった = 26 良かった = 19 普通 = 1

講師：大変良かった = 29 良かった = 13 普通 = 3

ご意見感想など： 先生、ありがとうございます。話は長すぎたが内容は素晴らしかった。

深い知識と経験に基づく話は、聞くものに訴えかける。思った事をちゃんと良い続ける大切さ。まわりの表面的評価に流されない事の重要さが分かった。森林と水田の効用が少し分かった。先生が休憩を取られたほうがよかった。ずっと以前から「水田はダム」であるなどの貴重な見解をもたれていたことは素晴らしいと思った。原発に対して、きっちり怒っておられる事はすごく良かったです。大切な問題であるが、地味な問題だから、なかなか気づかない事だ。



C)企画調査「私たちの水はどこから？」について

テーマ： 大変良かった = 17 良かった = 17 普通 = 1

内容： 大変良かった = 13 良かった = 15 普通 = 2

D)「私たちの活動」について

テーマ： 大変良かった = 13 良かった = 17 普通 = 1

出展団体： 大変良かった = 13 良かった = 14 普通 = 2

内容： 大変良かった = 12 良かった = 10 普通 = 2

ご意見感想など： 生物多様性で私たちが生かされている社会が出来ている基本、今新しい農薬が使用しはじめて、ミツバチが大量に死んでいるのですが、他の動物も死んでいることでしょう。農薬（ネオニコチノイドを使用し続けては生態系がこわれそうで心配である！ 各学校からの報告が良かった。自然観察会3団体も良かった スタッフの皆様方が一生懸命取り組んでいらっしゃいました。頭が下がります。



E)「みんなの環境展」についてご自由にご意見を

この有意義な展示発表会をもっと一般にPRして欲しい。特に若い次世代を担う年代の方に見に来て欲しい。初めて来たので、次回参加したい。ボトルの水のことを考えさせられた。25日に来てもっとゆっくり見ておけば良かった。ありがとうございます。

暮らしの中に入ってきているスプレー、農薬が多く使用されている危険性にも気づき目を向けていかななくてはならない。時代でもあるのではないかしら？ 次回は、原発に対する見解をはっきりとさせてもらいたい。次も楽しみです。私たちの生活に関係している内容を選んでいただき、感謝です。次は放射能ですかね。カレンダーの写真、説明がとても分かりやすく、田舎の風景を見る時、関点を持ってみるようになると思う。次世代に於いて、生活環境の中で水は最も重要な課題であることは言うまでもありません。勉強していきたいと思います。残念ながら時間がなくてゆっくり見る時間がありませんでした。

水は大切ですね。もっと若い人達（幼稚園、学校）にもPRして、積極的に声かけが必要。また知らせることでより良い社会が生まれると思います。釣り糸の展示はすごい。足で積み上げる事実。学問になります。子供たちへ、出版へ。初めて参加させて頂きました。これから勉強したいと思います。公民館などにも、展示して多くの人を観ることが出来るように。広く一般の方々に知ってもらいたい。学校 etc に移動展示できれば。たくさんの人に見てもらいたいです。明日紹介します。

入場者数

6月25日 展示室150名

6月26日 展示室150名 小ホール195名 (映画79名、シンポジウム116名)

2日間合計495名

会員を募集中。

あつぎ環境市民の会では、今年度会員を募っています。年会費：A 会員 2000 円。B 会員 1000 円。お近くの会員または、046-224-5010 (狩野) までお問い合わせください。

みんなの環境 第30号 2011年8月1日発行

編集・発行 あつぎ環境市民の会 代表 狩野光子 / 制作 長岡恂

電話/FAX 046-224-5010 e-mail: mitsuko-karino@ayu.ne.jp

事務局 〒243-0817 厚木市王子2-14-3 山中延明 方

電話/FAX 046-224-9693 e-mail: ANA40480@nifty.com

郵便振替口座 00200-7-132779 (年会費 A 会員:2000 円 B 会員:1000 円)

(C)あつぎ環境市民の会 2011